

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	18202
----------	-------

1. 開設大学	広島修道大学	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	特定保健用食品（トクホ）は使う意味があるのか？		
	学問分野	番 号	名 称
		44	食物
3. 担当教員	多山 賢二（健康科学部 健康栄養学科）		
4. 開講期間（曜日） 開講時間	令和 2 年 8 月 5 日（水） 10 時 45 分 ～ 14 時 35 分 （90 分×2 回）昼休みを挟む		
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	4 回目 /	10 回目 /	5 回目 /
	11 回目 /	6 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	30 人		
6. 科目内容・ 授業計画	食品のラベルに健康に良いことを記載する企業が増えてきており、皆さんもテレビCMやネット上で目にする機会が増えていると思います。しかし、記載するには、消費者庁への届出や表示許可申請を行って認めてもらうことが必要です。国の規制緩和の流れで近年新たに設立された「機能性表示食品」の制度は、安全性や有効性の観点で、問題点を指摘する人もいます。一方で長い歴史を持つ「特定保健用食品」は、昔は厚生労働省が、現在は消費者庁が審査を行い、その厳しい審査に合格した商品にのみ、表示が許されています。 この特定保健用食品（以下、トクホ）は、価格もやや高めに設定されており、生活習慣病の予防が期待できるような広告も出ていますが、トクホは本当に使う（食べる・飲む）意味があるのでしょうか？ 現在市販されているトクホ商品を複数取り上げ、この効果のレベルについて、少し詳しく見ていきます。ただ残念ながら、公開されているヒトでの実験結果に、ほとんど生（なま）データはなく、加工されていますので、読み解く力が必要になってきます。そこで、それらの説明を行いながら、効果のレベルを探っていきます。 前半の 90 分間では、健康強調表示ができる国内の制度について少し触れた上で、ヒトで食品の有効性を調べることの難しさを説明します。後半の 90 分間では、食品企業から公開されている研究結果を引用し、具体的にどの程度の効果が期待できるのかを推論していきたいと考えており、話の展開に皆さんに付いてきてもらいたいと思います。 これらの勉強をしていくことで、トクホに対するイメージを正しく作り上げてもらい、あなたなりに、一部の商品ではありますが、トクホを使う（食べる・飲む）意味について結論を出して欲しいと思います。帰宅・帰省したら、トクホについて家族と話をしてみましょう。		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	（テキスト代・実習料等） なし		
9. 開講条件※1 あり・ ☐ ない	① 最少開講人数（ 人）定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 （7 月 10 日（金）以前の開講科目は 3 月末まで／7 月 11 日（土）以降の開講科目は 6 月末まで）		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 受講者は、高校 2 年生および 3 年生に限定させていただきます。		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。